

令和元年度
学校自己点検・自己評価 報告書

令和2年3月2日実施
学校法人 エイシンカレッジ
日本ビジネス公務員専門学校

項目別の自己評価表

1. 学校の教育目標

(1) 建学の精神

- ① 本校の学習を通し、社会に貢献する人材の育成
- ② 豊かな教養を身につけた国際的思考の出来る人材の育成

(2) 教育方針

① スペシャリストの育成

本校は現代社会の要請、特に地元の産業の求める仁座区の育成を目的とする。
そのため、卒業後すぐ役立つ資格、能力、知識を備えた、実社会で要望される「スペシャリスト」を育成する。

② 豊かな人間形成

資格、技術を持つと同時に、社会的常識と基本マナーを備え、明るく健康で建設的な意思を持ったビジネスマン、
ビジネスウーマンを形成する。

2. 本年度(31年度)に定める重点的に取り組むことが必要な目標や計画

(1) 基本方針

① 教務指導

活発的な学生を育てる。
学校全体を活発で明るい雰囲気にする。
コミュニケーション能力のある学生を育てる。
あいさつ、返事など基本的な生活マナーについて指導を強める。

② 就職指導

就職希望者(求職票提出者)の100%就職をめざす。

③ 業務遂行上のルール徹底

会議における議事録の作成と関係者による確認
報告の徹底

(2) 主な事業計画

① Jpas全校活動を実施する。(回数は3回を予定する。)

ボランティア、レクリエーション等でクラスの枠を超えた活動を行い学生の自主性、コミュニケーション能力を育成する。

② 就職講演会の実施(回数は10回程度を予定する。)

企業・団体トップ、OB・OGを含む現役の職業人など幅広い層から社会人として必要な心構え、
実際の仕事を行ううえで必要な知識・マナーを吸収
講演会の内容についてレポート作成をすることで、他の人の話を聞き自分の考えをまとめる訓練を行う。
講演会の対象者は全学生とするが、内容により学年、学科を絞って行うこともあるものとする。

③ 施設設備の効率的な使用と清掃に努め、コスト削減と清潔感のある校舎を作る。

災害時における避難誘導の整備と理解を深める。

評価項目の達成及び取組状況

		適切…4、ほぼ適切…3、やや不適切…2、不適切…1			
(1) 教育理念・目標		4	3	2	1
評価項目	① 学校の理念・目的・育成人材像は定められているか (専門分野の特性が明確になっているか)	④	3	2	1
	② 学校の理念、目的のもとに特色ある職業教育が行われているか	④	3	2	1
	③ 社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	4	③	2	1
	④ 学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが学生・保護者等に周知されているか	④	3	2	1
	⑤ 各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	④	3	2	1

①現状

- 各学科ごと、教育理念・目標に基づいた人間育成(知識や技術の修得)がなされている。
- 学校の理念、目的、将来構想に基づいた学科運営を心掛けている。

②課題及び改善方法

- 学科ごと、年単位でポリシー(アドミッション、カリキュラム、ディプロマ)の検証が必要である。
- キャリアガイダンスなどを活用し、ポリシーを学生と共有していく必要がある。

③特記事項

特になし

		適切…4、ほぼ適切…3、やや不適切…2、不適切…1			
(2) 学校運営		4	3	2	1
評価項目	① 目的等に沿った運営方針が策定されているか	④	3	2	1
	② 運営方針に沿った事業計画が策定されているか	④	3	2	1
	③ 運営会議(学校運営会議・学科運営会議等)が定期的開催されているか	④	3	2	1
	④ 組織の構成員のそれぞれの職務分掌が文書化されているか	④	3	2	1
	⑤ 人事、給与に関する規定等は整備されているか	④	3	2	1
	⑥ 業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	4	③	2	1
	⑦ 教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	④	3	2	1
	⑧ 情報システム化等による業務の効率化が図られているか	④	3	2	1
	⑨ 教職員の健康診断がされているか	④	3	2	1

①現状

- 学校運営については学則、組織図、職務分掌を年度ごとに作成し、健全化を図っている。
- 校内において学校運営会議を定期的開催し、協議や情報の共有がなされている。
- GPAによる成績評価を導入することができた。
- 人事、および給与は法人の定める就業規則、その他諸規定によって規定されている。
- 学籍を入学から卒業まで一元管理し、業務の効率化を図っている。

②課題及び改善方法

- ICTに関して最新動向を把握し効率化を推進していく。
全部署においてビジネスツール(Googleソリューションズ、chatworkなど)を利活用していく必要がある。
- 引き続きペーパーレス化(配布物、提出物などのデジタル化)を推進していく。

③特記事項

- 全ての活動の根幹となる点検項目であることから、次年度も現状に甘んじることなく、常に高い目標を設定し、日々努力していきたい。

		適切…4、ほぼ適切…3、やや不適切…2、不適切…1			
(3) 教育活動		4	3	2	1
評価項目	① 教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	④	3	2	1
	② 成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	④	3	2	1
	③ 関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	④	3	2	1
	④ 職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	④	3	2	1
	⑤ 授業評価の実施・評価体制はあるか	④	3	2	1
	⑥ 関連分野における業界等との連携において優れた教員(本務・兼務含む)を確保するなどマネジメントが行われているか	4	③	2	1
	⑦ 関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	4	③	2	1
	⑧ 職員の能力開発のための研修等が行われているか	4	③	2	1

①現状

- 外部関係者から教育に関する評価を得て授業カリキュラムに反映していく体制が整っている。
- 各学科のカリキュラムは各学科独自の教育スタンスに基づき、目標を達成することが可能なレベルで編成されている。
- 検定対策授業により学生の資格取得を支援している。
- 外部団体実施の研修に積極的に参加している。

②課題及び改善方法

- 教員の確保が課題である。引き続き注力していく。
- ICTを活用した授業の研究や研修をおこなう必要がある。
- 教員のキャリアに応じた能力開発を検討する。(特に新人職員の育成が課題)

③特記事項

特になし

		適切…4、ほぼ適切…3、やや不適切…2、不適切…1			
(4) 学修成果		4	3	2	1
評価項目	① 就職率の向上が図られているか	④	3	2	1
	② 資格取得率の向上が図られているか	④	3	2	1
	③ 退学率の低減が図られているか	4	③	2	1
	④ 卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	4	③	2	1
	⑤ 卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	4	③	2	1

①現状

- 就職率・資格取得率は自校の学校案内パンフレットおよびホームページ等で公開している。
- 退学率の低減が図れた。(きめ細かな学生指導ができています。)
- 観点別評価による成績評価の導入がなされた。
- 就職率および資格取得率とその推移について、学校全体で情報共有をできている。

②課題及び改善方法

特になし

③特記事項

特になし

		適切…4、ほぼ適切…3、やや不適切…2、不適切…1			
(5) 学生支援		4	3	2	1
評価項目	① 進路・就職に関する支援体制は整備されているか	④	3	2	1
	② 学生相談に関する体制は整備されているか	4	③	2	1
	③ 学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	④	3	2	1
	④ 学生の健康管理を担う組織体制はあるか	④	3	2	1
	⑤ 課外活動に対する支援体制は整備されているか	④	3	2	1
	⑥ 学生の生活環境への支援は行われているか	④	3	2	1
	⑦ 保護者と適切に連携しているか	4	③	2	1
	⑧ 卒業生への支援体制はあるか	④	3	2	1
	⑨ 社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	4	③	2	1
	⑩ 高校・高等専門学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	4	③	2	1

①現状

- 企業や病院等との連携や校内での就職実務や授業の実施など、在校生の就職支援体制が整備されている。
- 学生相談は、担任および学科チームで対応する体制が整備され、有効に機能している。
(今年度において転科による学修支援を学生に提供できた。)
- 学費等納入に関し、分納や奨学金等の相談・体制が整っており、個別支援を行っている。
- 通学困難な学生のため、学生寮および学生アパートを完備し、経済的サポートが機能している。

②課題及び改善方法

特になし

③特記事項

- 次年度開始する「高等教育の修学支援新制度」に関して事務手続きの体制を整備していく。

		適切…4、ほぼ適切…3、やや不適切…2、不適切…1			
(6) 教育環境		4	3	2	1
評価項目	① 施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備され、保守・管理が定期的に行われているか	④	3	2	1
	② 学内外の実習施設、インターンシップ、研修等について十分な教育体制を整備しているか	④	3	2	1
	③ 災害、事件、事故発生時の校内緊急体制は十分に整備されているか	④	3	2	1
	④ 学生の駐輪場が確保され整備・点検されているか	④	3	2	1

①現状

- 5Fビジネス学科教室のパソコンを入れ替えた。(私立学校等研究設備整備費等補助金を利用)
- 防災に関して避難訓練(春期)、教職員への啓発活動(春、秋期)を実施している。
- 自衛消防・防災組織隊の年度更新が図れている。

②課題及び改善方法

- インターネットを介したによる動画授業に関して研究していく必要がある。

③特記事項

- 特になし

		適切…4、ほぼ適切…3、やや不適切…2、不適切…1			
(7) 学生の受入れ募集		4	3	2	1
評価項目	① 学生募集活動は、適正に行われているか	④	3	2	1
	② 学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	④	3	2	1
	③ 学納金が妥当なものとなっているか	④	3	2	1

①現状

- 学校案内のパンフレット・募集要項を毎年製作し、入学希望者に対して最新情報を提供できている。
- オープンキャンパスなど各種進学イベントを年間実施し、学校の理解を深めてもらえる機会を設けている。
- 物価変動に対応し、学納金の適正化が図れた。

②課題及び改善方法

- オリンピック等による社会変化に応じた進学イベントを展開していく必要がある。

③特記事項

- 学納金の見直しを図った。

		適切…4、ほぼ適切…3、やや不適切…2、不適切…1	4	3	2	1
(8)財務			4	3	2	1
評価項目	① 中長期的に学校の財務基盤が安定しているといえるか		④	3	2	1
	② 予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか		④	3	2	1
	③ 財務について会計監査が適正に行われているか		④	3	2	1
	④ 財務情報公開の体制整備はできているか		④	3	2	1

①現状

- 財政基盤に関して、特設の問題はない。
- 予算は計画に従って妥当に執行されている。
- 年間公認会計士による会計監査が行われている。

②課題及び改善方法

- 特になし

③特記事項

- 特になし

		適切…4、ほぼ適切…3、やや不適切…2、不適切…1	4	3	2	1
(9)法令等の遵守			4	3	2	1
評価項目	① 法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか		④	3	2	1
	② 個人情報に対し、その保護のための対策がとられているか		④	3	2	1
	③ 自己評価の実施と問題点の改善を行っているか		④	3	2	1
	④ 自己点検・評価報告書が公開しているか		④	3	2	1

①現状

- 個人情報に関する保護方針を明文化し、志願者・在校生・卒業生および教職員など保有している個人情報を適正に保護できている。
- 学生の手引き(学生版)のデジタル化が図れた。
- 自己評価、学校関係者評価を実施し、課題の発見に努めている。

②課題及び改善方法

- 業務マニュアルを整備およびデジタル化を検討していく必要がある。

③特記事項

- 特になし

		適切…4、ほぼ適切…3、やや不適切…2、不適切…1			
(10) 社会貢献・地域貢献		4	3	2	1
評価項目	① 学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	4	3	2	1
	② 学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	4	3	2	1
	③ 教育資源(施設・設備の開放・教職員の出張講座等)を地域社会に提供しているか	4	3	2	1

①現状

- 学生のボランティア活動の状況を把握している。(公務員学科の学生が地域行政関連と関わりを深めている。)
- 学生が長岡市学生消防団に所属し地域社会に貢献する取り組みを実践している。(公務員分野)
- 地域中学校の上級学校学習に積極的に協力している。
- 在校生が「学生平和交流プログラムinホルル(長岡市)」に参加した。

②課題及び改善方法

特になし

③特記事項

特になし